

直前対策シート「動詞の区別」

1 学習のポイント

主語や時によって動詞の形は変化する！

→現在形の場合は、「主語」による動詞の変化もポイント！

①主語が3人称単数かどうか。

②3人称とは…「私」「あなた」以外の第三者すべてで1人または1つを表すもの。

2 具体的に考えよう

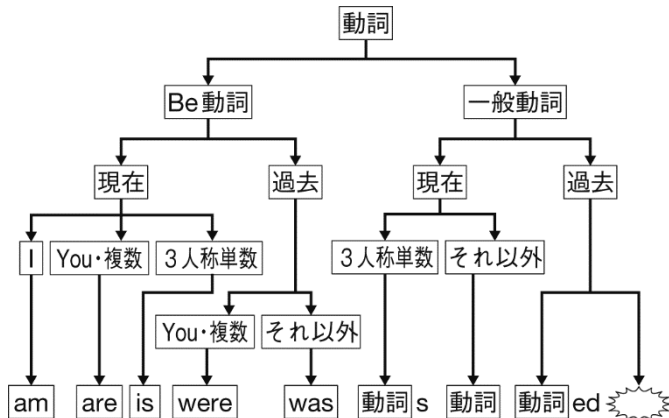
①be動詞と一般動詞の区別

be動詞…「どんなだ」「何だ」と結びついて、
状態を表す。

「～がある（いる）」の意味もある。

一般動詞…ある動作を表す。

②動詞の変化



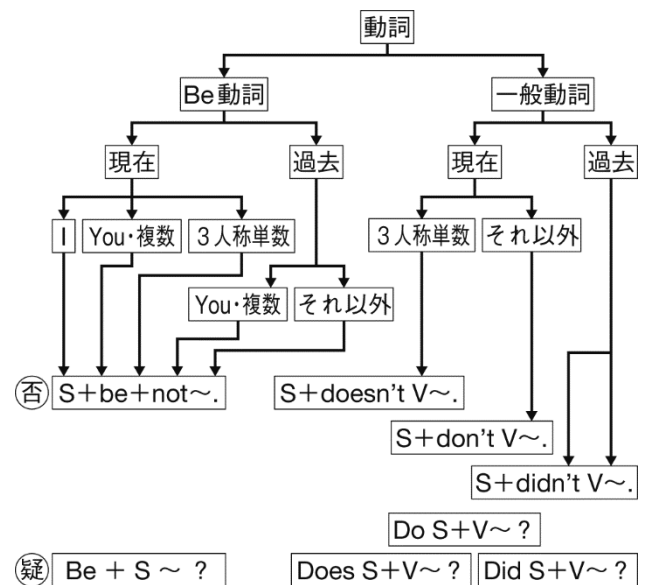
*主語が3人称の場合は、「is」「was」「一般動詞s」
のように単語の語尾が-sになっている。

【類題演習1】()の語を適切な形に変えよう。

- (1) He (be) always kind to everyone.
- (2) She (go) shopping every Saturday.
- (3) Our school (have) about 100 students now.
- (4) One of the members (be) not in the meeting yesterday.
- (5) Sayaka (take) some pictures last week.

③否定文・疑問文の作り方

*一般動詞の場合は do/does/did の道具が必要



【類題演習2】指示に従って書き換えよう。

- (1) She has many books. (否定文に)
- (2) You were in the park last night. (疑問文に)
- (3) Sayaka read this letter. (疑問文に)

3 実践アドバイス

語形変化や英作文で狙われる！

①主語と時の基準に着目する。

②疑問文や否定文をつくるときは、まず動詞に着目する。

⇒動詞=be動詞…語順と not の位置に注意

⇒動詞=一般動詞…do/does/did の道具が必要

直前対策シート「動詞の区別」

1 学習のポイント

主語や時によって動詞の形は変化する！

→現在形の場合は、「主語」による動詞の変化もポイント！

①主語が3人称単数かどうか。

②3人称とは…「私」「あなた」以外の第三者すべてで1人または1つを表すもの。

2 具体的に考えよう

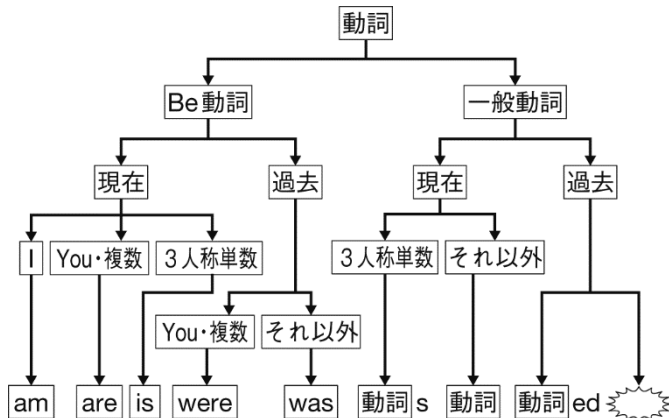
①be動詞と一般動詞の区別

be動詞…「どんなだ」「何だ」と結びついて、
状態を表す。

「～がある（いる）」の意味もある。

一般動詞…ある動作を表す。

②動詞の変化



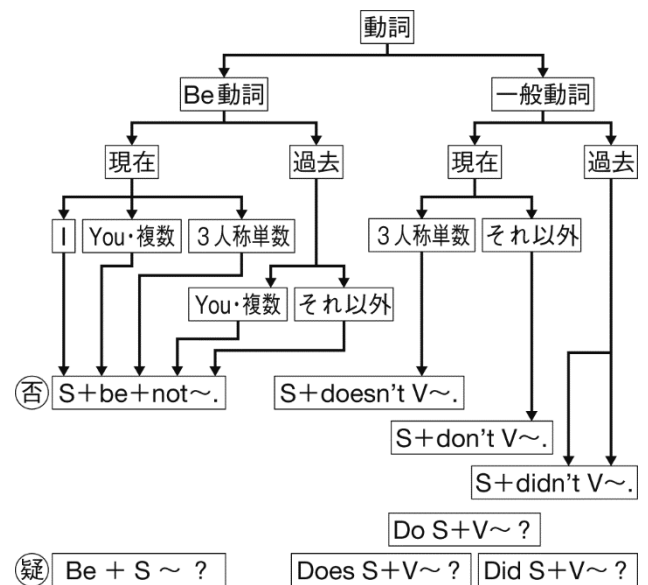
*主語が3人称の場合は、「is」「was」「一般動詞s」
のように単語の語尾が-sになっている。

【類題演習1】()の語を適切な形に変えよう。

- (1) He (be) always kind to everyone. **is**
- (2) She (go) shopping every Saturday. **goes**
- (3) Our school (have) about 100 students now. **has**
- (4) One of the members (be) not in the meeting yesterday. **is**
- (5) Sayaka (take) some pictures last week. **took**

③否定文・疑問文の作り方

*一般動詞の場合は do/does/did の道具が必要



【類題演習2】指示に従って書き換えよう。

- (1) She has many books. (否定文に)
She doesn't have many books.
- (2) You were in the park last night. (疑問文に)
Were you in the park last night?
- (3) Sayaka read this letter. (疑問文に)
Did Sayaka read this letter?

3 実践アドバイス

語形変化や英作文で狙われる！

①主語と時の基準に着目する。

②疑問文や否定文をつくるときは、まず動詞に着目する。

⇒動詞=be動詞…語順と not の位置に注意

⇒動詞=一般動詞…do/does/did の道具が必要

直前対策シート「基本時制」

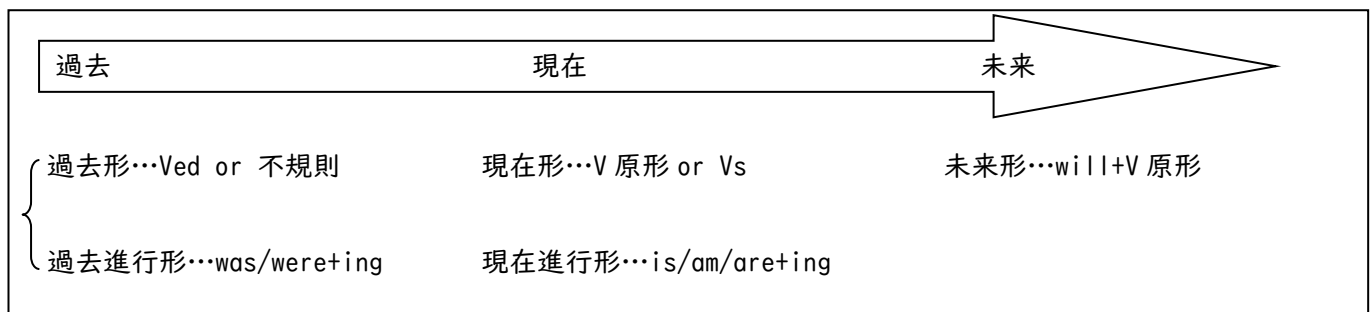
1 学習のポイント👉

時の基準を見つけよう！

→「過去」「現在」「未来」のどの時間軸？

- ①「過去」→過去形・過去進行形 (was・were+～ing)
- ②「現在」→現在形・現在進行形 (is・am・are+～ing)
- ③「未来」→未来形 (will・be going to)

2 具体的に考えよう👉



判断の手順

①時の基準を探す。

時を表す語句	意味	基準	時を表す語句	意味	基準
tomorrow	明日	未来	～ago	～前	過去
today	今日	現在	always	いつも	現在
yesterday	昨日	過去	usually	たいてい	現在
now	今	現在	often	よく, しばしば	現在
then=at that time	その時	過去	sometimes	ときどき	現在
last～	先～	過去	this morning	今朝	過去
next～	来～	未来	every day	毎日	現在

②短い期間の中である動作を「～している (いた)」

→現在進行形・過去進行形

【類題演習】必要があれば () 内の語を適切な形に変えよう。

- (1) He was (clean) his room when his mother came home.
- (2) Sayaka (study) English every day.
- (3) Our dog will (be) five years old next week.

3 実践アドバイス👉

語形変化で狙われる！

- ①空欄内の単語が、動詞+主語のすぐ後ろにある。
- ②時の基準を見つける。→過去形の場合は不規則動詞中心に出題。
→現在形の場合は主語が3人称単数であることが多い。
- ③前に be 動詞 (+後ろに名詞) がある。→進行形。*入試では受け身の文の可能性もあるので注意。

直前対策シート「基本時制」

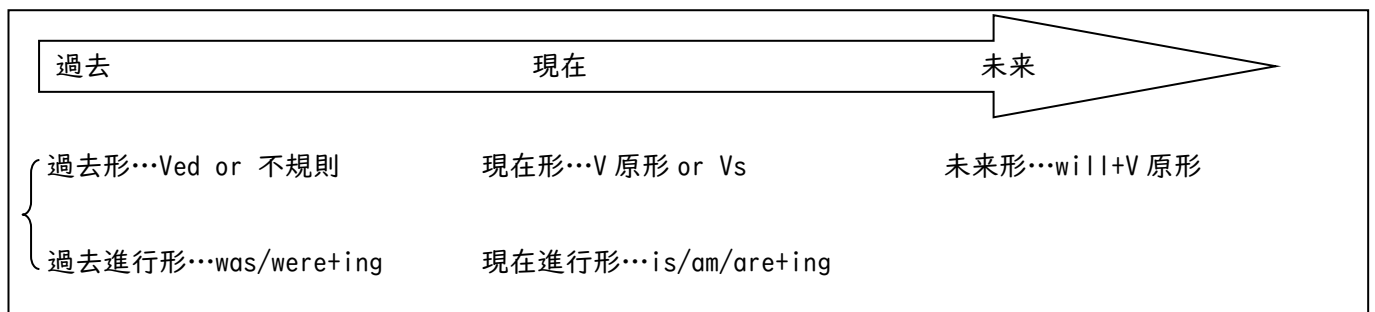
1 学習のポイント👉

時の基準を見つけよう！

→「過去」「現在」「未来」のどの時間軸？

- ①「過去」→過去形・過去進行形 (was・were+～ing)
- ②「現在」→現在形・現在進行形 (is・am・are+～ing)
- ③「未来」→未来形 (will・be going to)

2 具体的に考えよう👉



判断の手順

①時の基準を探す。

時を表す語句	意味	基準	時を表す語句	意味	基準
tomorrow	明日	未来	～ago	～前	過去
today	今日	現在	always	いつも	現在
yesterday	昨日	過去	usually	たいてい	現在
now	今	現在	often	よく、しばしば	現在
then=at that time	その時	過去	sometimes	ときどき	現在
last～	先～	過去	this morning	今朝	過去
next～	来～	未来	every day	毎日	現在

②短い期間の中である動作を「～している (いた)」

→現在進行形・過去進行形

【類題演習】必要があれば()内の語を適切な形に変えよう。

- (1) He was (clean) his room when his mother came home. **cleaning**
- (2) Sayaka (study) English every day. **studies**
- (3) Our dog will (be) five years old next week. **be**

3 実践アドバイス👉

語形変化で狙われる！

- ①空欄内の単語が、動詞+主語のすぐ後ろにある。
- ②時の基準を見つける。→過去形の場合は不規則動詞中心に出題。
→現在形の場合は主語が3人称単数であることが多い。
- ③前に be 動詞(+後ろに名詞)がある。→進行形。*入試では受け身の文の可能性もあるので注意。

直前対策シート「現在完了形」

1 学習のポイント

現在完了形 = 「過去」 + 「現在」を表す！

→ 3つの用法の見分け方のポイント

① 継続 → since / for / how long とセット

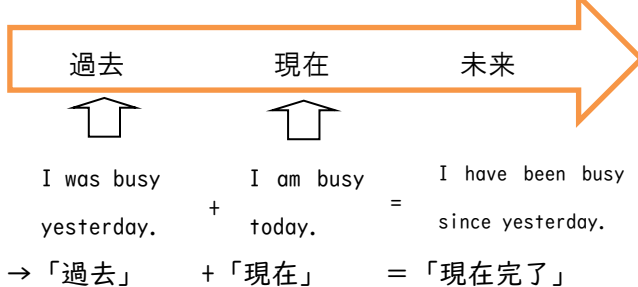
② 経験 → ever / never / before / how many times (=how often) / once / twice / ~times とセット

③ 完了 → already / yet (否定文&疑問文で) / just とセット

基本形 = have (has) + 過去分詞

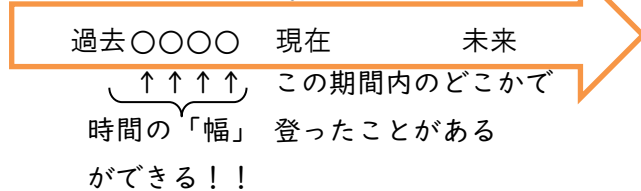
2 具体的に考えよう

① 継続：1つ前の時制から「ずっと~している」



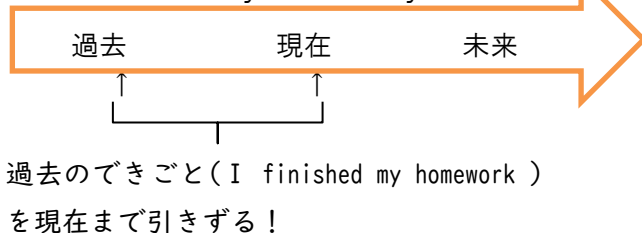
② 経験：ある期間の中のどこかで「~したことがある」

I have climbed Mt. Fuji before.



③ 完了：過去の状況を現在まで引っ張り「~してしまった」

I have already finished my homework.



【類題演習1】日本語に合うよう、() に適切な語を入れよう。

(1) 彼は子どものときからずっと医者になりたいと思っている。

He () () to be a doctor since he was a child.

(2) 私は一度も会議に遅れたことがない。

I () never () late for the meeting.

(3) 列車はちょうど駅を出発してしまった。

The train () just () the station.

【類題演習2】日本語に合うよう、() に適切な語を入れよう。

(1) 私は1週間ずっと病氣だ。

I have been sick () a week.

(2) 今までにこの歌を聞いたことがある？

Have you () listened to this song?

(3) もう部屋の掃除は終わったの？

Have you cleaned your room ()?

(4) どのくらいの間大阪に住んでいるの？

- 去年からだよ。

() () have you lived in Osaka?

- () last year.

3 実践アドバイス

語形変化や空欄補充で狙われる！

① 空欄前に have があったら現在完了を疑え！

ex) How many times have they (be) in Canada?

→ How many times have they been in Canada? ... have に着目して現在完了と気づく！

② 現在完了の3つの用法とそれぞれのキーワードに着目！

* 整序作文の場合は、キーワードの位置に注意！ → ever / never / already / just は have の後！

③ 空欄補充では、特に for と since の使い分けに注意！

直前対策シート「現在完了形」

1 学習のポイント

現在完了形 = 「過去」 + 「現在」を表す！

→ 3つの用法の見分け方のポイント

① 継続 → since / for / how long とセット

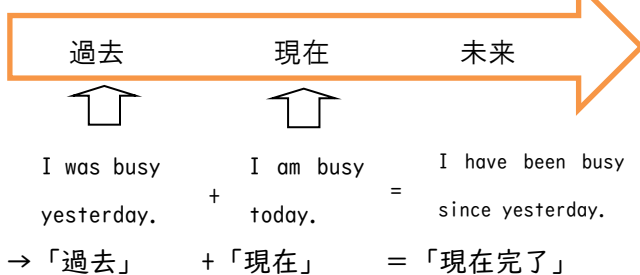
② 経験 → ever / never / before / how many times (=how often) / once / twice / ~times とセット

③ 完了 → already / yet (否定文&疑問文で) / just とセット

基本形 = have(has) + 過去分詞

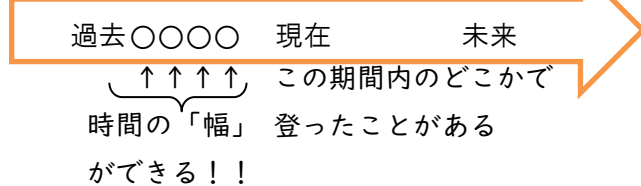
2 具体的に考えよう

① 継続：1つ前の時制から「ずっと~している」



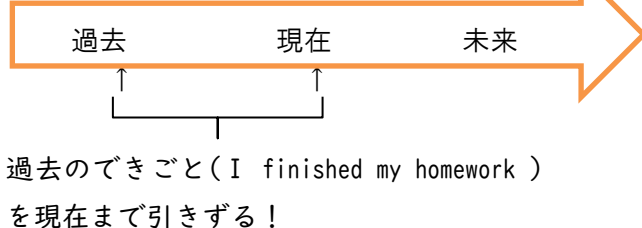
② 経験：ある期間の中のどこかで「~したことがある」

I have climbed Mt. Fuji before.



③ 完了：過去の状況を現在まで引っ張り「~してしまった」

I have already finished my homework.



【類題演習1】日本語に合うよう、()に適切な語を入れよう。

(1) 彼は子どものときからずっと医者になりたいと思っている。

He () () to be a doctor since he was a child. **has wanted**

(2) 私は一度も会議に遅れたことがない。

I (**have**) never (**been**) late for the meeting.

(3) 列車はちょうど駅を出発してしまった。

The train (**has**) just (**left**) the station.

【類題演習2】日本語に合うよう、()に適切な語を入れよう。

(1) 私は1週間ずっと病気だ。

I have been sick (**for**) a week.

(2) 今までにこの歌を聞いたことある?

Have you (**ever**) listened to this song?

(3) もう部屋の掃除は終わったの?

Have you cleaned your room (**yet**)?

(4) どのくらいの間大阪に住んでいるの?

- 去年からだよ。

(**How**) (**long**) have you lived in Osaka?

- (**since**) last year.

3 実践アドバイス

語形変化や空欄補充で狙われる！

① 空欄前に have があったら現在完了を疑え！

ex) How many times have they (be) in Canada?

→ How many times have they been in Canada? ... have に着目して現在完了と気づく！

② 現在完了の3つの用法とそれぞれのキーワードに着目！

* 整序作文の場合は、キーワードの位置に注意！ → ever / never / already / just は have の後！

③ 空欄補充では、特に for と since の使い分けに注意！

直前対策シート「助動詞」

1 学習のポイント👉

助動詞のポイントは意味と同意表現！

→助動詞…動詞の意味を助ける働き！⇒後ろの動詞の原形とセットでおさえよう。

①基本の形…助動詞+動詞の原形

②助動詞の意味

③助動詞と同じ意味の表現…すべての同意表現は to+動詞の原形をふくんでいる！

2 具体的に考えよう👉

①基本の意味と言い換え表現

助動詞	意味	言い換え
can	～できる	be able to
must	～しなければならない ～にちがいない	have to has to
may	～してもよい ～かもしれない	×
will	～でしょう ～するつもりだ	be going to
should	～すべきだ	ought to (高校範囲)
shall	～しましょう	×

【類題演習1】日本語に合うよう、()
に適切な語を入れよう。

(1) さやかは上手に歌うことができる。

Sayaka () () well.

(2) あなたは宿題をしなければならない。

You () () do your homework.

(3) 明日は雨が降るかもしれない。

It () () tomorrow.

(4) 来週散歩するつもりだ。

I () () a walk next week.

(5) あなたは家にいるべきだ。

You () stay at home.

【類題演習2】日本語に合うよう、()
に適切な語を入れよう。

(1) 手伝ってくださいませんか。

— もちろん。

Will () help me? — Sure.

(2) 外出してもいいですか。

— いいですよ。

() () go out?

— Yes, you may.

(3) 図書館に行きましょう。

() don't you visit the library?

3 実践アドバイス👉

対話文で狙われる！

空欄補充問題の手がかりになる！

ex) A: What are you going to do?

B: .

ア We are going to practice. イ We are going to Kyoto.

ウ You are going to practice. エ You are going to Kyoto.

主語と be going to
に着目する

答え

直前対策シート「助動詞」

1 学習のポイント👉

助動詞のポイントは意味と同意表現！

→助動詞…動詞の意味を助ける働き！⇒後ろの動詞の原形とセットでおさえよう。

①基本の形…助動詞+動詞の原形

②助動詞の意味

③助動詞と同じ意味の表現…すべての同意表現は to+動詞の原形をふくんでいる！

2 具体的に考えよう👉

①基本の意味と言い換え表現

助動詞	意味	言い換え
can	～できる	be able to
must	～しなければならない ～にちがいない	have to has to
may	～してもよい ～かもしれない	×
will	～でしょう ～するつもりだ	be going to
should	～すべきだ	ought to (高校範囲)
shall	～しましょう	×

- ・相手に何かをお願いする表現…主語は you になる！
→Will you open the door? (ドアを開けてくれませんか。)
=Can you open the door? =Please open the door.
- ・自分が何かする表現…主語は I になる！
→May I open the door? (ドアを開けてもいいですか。)
=Can I open the door?
→Shall I open the door? (ドアを開けましょうか。)
- ・みんなで何かをするよう提案する表現
→Shall we play tennis?
=Let's play tennis. =How about playing tennis?
=Why don't you play tennis?

3 実践アドバイス👉

対話文で狙われる！

空欄補充問題の手がかりになる！

ex)A: What are you going to do?

B: .

ア We are going to practice. イ We are going to Kyoto.

ウ You are going to practice. エ You are going to Kyoto.

主語と be going to
に着目する

答え ア

【類題演習1】日本語に合うよう、()
に適切な語を入れよう。

(1) さやかは上手に歌うことができる。

Sayaka (can) (sing) well.

(2) あなたは宿題をしなければならない。

You (have) (to) do your homework.

(3) 明日は雨が降るかもしれない。

It (may) (rain) tomorrow.

(4) 来週散歩するつもりだ。

I (will) (take) a walk next week.

(5) あなたは家にいるべきだ。

You () stay at home. should

【類題演習2】日本語に合うよう、()
に適切な語を入れよう。

(1) 手伝ってくれませんか。

— もちろん。

Will (you) help me? — Sure.

(2) 外出してもいいですか。

— いいですよ。

(May) (I) go out?

— Yes, you may.

(3) 図書館に行きましょう。

(Why) don't you visit the library?

直前対策シート「受け身」

1 学習のポイント

「受け身」は主役 Change の文！

→主語の入れ替えと動詞の形がポイント！

①基本の形＝be 動詞+過去分詞

②元の文の主語⇄目的語（動作の対象）が入れ替わる！

③意味：「～される」

2 具体的に考えよう

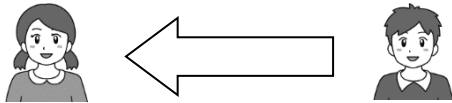
もとの文

I like her.



主役 Change!!…⇄の先にある人や物が主語に。

She is liked by me.



脇役から 矢印の向きが変わる！ 主役から脇役へ！
主役へ！ →be 動詞+過去分詞に →by の後ろに

*受け身の文の作り方

①動詞の後ろにある名詞に着目→主役へ

→Sayaka sings this song.

②動詞を be 動詞+過去分詞に→be 動詞の形に注意

→This song is sung ~.

現在だから
is を使う！

③もとの文の主役を脇役へ

→This song is sung by Sayaka.

3 実践アドバイス

読解問題での語形変化で狙われる！

①何が主語かをチェック！ ②be 動詞があるかをチェック！

③主語と動詞の関係をチェック！→主語がその動詞の動作をするかどうか判断！

→動詞の後ろに名詞がない場合は「受け身」の可能性が高い！

() 内の語を適切な形に変えよう。

ex)The room was (clean) by my mother.→

→She has no time to study today.

【類題演習1】受け身の文を完成させよう。

元の文	動作の対象	受け身の文
He wrote this book.	this book	This book _____ by him.
Everyone loves her.	her	She _____ by everyone.
We call him Tom.	him	He _____ Tom by us.
We can see the mountain from here.	the mountain	The mountain _____ from here (by us).

【類題演習2】受け身の文をもとにもどしてみよう。

受け身の文	受け身の文の S	もともどしたときの S	もとの文
This book was written by him.	this book	him	
She is loved by everyone.	her	everyone	
The mountain can be seen from here (by us).	the mountain	us	

直前対策シート「受け身」

1 学習のポイント

「受け身」は主役 Change の文！

→主語の入れ替えと動詞の形がポイント！

①基本の形＝be 動詞+過去分詞

②元の文の主語⇄目的語（動作の対象）が入れ替わる！

③意味：「～される」

2 具体的に考えよう

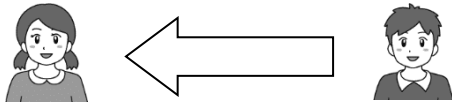
もとの文

I like her.



主役 Change!!…⇄の先にある人や物が主語に。

She is liked by me.



脇役から 矢印の向きが変わる！ 主役から脇役へ！
主役へ！ →be 動詞+過去分詞に →by の後ろに

*受け身の文の作り方

①動詞の後ろにある名詞に着目→主役へ

→Sayaka sings this song.

②動詞を be 動詞+過去分詞に→be 動詞の形に注意

→This song is sung ~.

現在だから
is を使う！

③もとの文の主役を脇役へ

→This song is sung by Sayaka.

3 実践アドバイス

読解問題での語形変化で狙われる！

①何が主語かをチェック！

②be 動詞があるかをチェック！

③主語と動詞の関係をチェック！→主語がその動詞の動作をするかどうか判断！

→動詞の後ろに名詞がない場合は「受け身」の可能性が高い！

() 内の語を適切な形に変えよう。

ex)The room was (clean) by my mother.→**cleaned**

→She has no time to study today.

【類題演習1】受け身の文を完成させよう。

元の文	動作の対象	受け身の文
He wrote this book.	this book	This book _____ by him. was written
Everyone loves her.	her	She is loved by everyone.
We call him Tom.	him	He is called Tom by us.
We can see the mountain from here.	the mountain	The mountain can be from here (by us).

【類題演習2】受け身の文をもとにもどしてみよう。

受け身の文	受け身の文の S	もともどしたときの S	もとの文
This book was written by him.	this book	him	He wrote this book.
She is loved by everyone.	her	everyone	Everyone loves her.
The mountain can be seen from here (by us).	the mountain	us	We can see the mountain.

直前対策シート「不定詞」

1 学習のポイント👉

不定詞 (to + 動詞の原形) には 3 つの意味がかくれている！

→見分け方のポイントは「問いかけ」

- ①名詞的用法→「何？」用法
- ②形容詞的用法→「どんな？」用法
- ③副詞的用法→「なんで？」用法

to の前に / をいれて、①～③
のどの問いかけをすれば意味
が通じるか考える！

2 具体的に考えよう👉

play→to play とすると 3 つの意味に変化する！

- ①名詞的用法→「何？」用法

She likes / to play in the park.

彼女は好きだ / 公園で遊ぶの

何が？

- ②形容詞的用法→「どんな？」用法

I have something / to eat.

私は何かもっている / 食べるための

どんな？

- ③副詞的用法→「なんで？」用法

She went to the park / to play with her friends

彼女は公園に行った / 友達と遊ぶために

*「どのくらい？」
という問いかけの
場合もある！

なんで？

【類題演習 1】日本語に合うよう、() に適切な語を入れよう。

(1) 彼は将来医者になりたいと思っている。

He wants () () a doctor.

(2) 英語を勉強することはとても重要だ。

() () English is very important.

It is very important () () English.

(3) 私はどこに行けばいいかわからない。

I don't know () () ().

【類題演習 2】日本語に合うよう、() の語句を適切に並べ替えよう。

(1) 私にはすべきことがたくさんある。

(have / to / things / I / many) do.

(2) 何か冷たい飲みものをくれませんか。

Will you (me / something / drink / give / to / cold) ?

【類題演習 3】日本語に合うよう、() に適切な語を入れよう。

(1) 私はインタビューするため彼に会った。

I met him () () him.

(2) とても暑かったので私は外出できなかった
(私が外出するには暑すぎた。)

It was too hot for me () () out.

(3) 私は彼女の歌を聞いて幸せだった。

I was happy () () () her songs.

3 実践アドバイス👉

整序作文で狙われる！

①選択肢に「to」と「動詞の原形」があったら不定詞を疑え！

②「不定詞だ！」と思ったら 3 つの「問いかけ」を意識

③～thing や time という名詞があったら「どんな？」の問いかけの可能性が高い！！

ex) (has / study / she / today / to / time / no).

→She has no time to study today.

直前対策シート「不定詞」

1 学習のポイント👉

不定詞 (to + 動詞の原形) には 3 つの意味がかくれている！

→ 見分け方のポイントは「問いかけ」

- ① 名詞的用法 → 「何？」用法
- ② 形容詞的用法 → 「どんな？」用法
- ③ 副詞的用法 → 「なんで？」用法

to の前に / をいれて、①～③
のどの問いかけをすれば意味
が通じるか考える！

2 具体的に考えよう👉

play → to play とすると 3 つの意味に変化する！

- ① 名詞的用法 → 「何？」用法

She likes / to play in the park.

彼女は好きだ / 公園で遊ぶの

何が？

- ② 形容詞的用法 → 「どんな？」用法

I have something / to eat.

私は何かもっている / 食べるための

どんな？

- ③ 副詞的用法 → 「なんで？」用法

She went to the park / to play with her friends

彼女は公園に行った / 友達と遊ぶために

* 「どのくらい？」
という問いかけの
場合もある！

なんで？

【類題演習 1】日本語に合うよう、() に適切な語を入れよう。

(1) 彼は将来医者になりたいと思っている。

He wants (to) (be) a doctor.

(2) 英語を勉強することはとても重要だ。

(To) (study) English is very important.

It is very important (to) (study) English.

(3) 私はどこに行けばいいかわからない。

I don't know (where) (to) (go).

【類題演習 2】日本語に合うよう、() の語句を適切に並べ替えよう。

(1) 私にはすべきことがたくさんある。

(have / to / things / I / many) do.

(2) 何か冷たい飲みものをくれませんか。
I have many things to

Will you (me / something / drink / give / to / cold)? *give me something cold to drink*

【類題演習 3】日本語に合うよう、() に適切な語を入れよう。

(1) 私はインタビューするため彼に会った。

I met him () () him. *to interview*

(2) とても暑かったので私は外出できなかった
(私が外出するには暑すぎた。)

It was too hot for me (to) (go) out.

(3) 私は彼女の歌を聞いて幸せだった。*to listen to*

I was happy () () () her songs.

3 実践アドバイス👉

整序作文で狙われる！

① 選択肢に「to」と「動詞の原形」があったら不定詞を疑え！

② 「不定詞だ！」と思ったら 3 つの「問いかけ」を意識

③ ~thing や time という名詞があったら「どんな？」の問いかけの可能性が高い！！

ex) (has / study / she / today / to / time / no).

→ She has no time to study today.

直前対策シート「動名詞」

1 学習のポイント👉

動名詞 (V+ing) は何 (が・を・だ) = 名詞の働きをする！

→動詞を名詞に変える他の方法は？…不定詞の名詞的用法→「何？」と問いかける用法

【原則】動名詞≡不定詞の名詞的用法

【例外】「何を？」の問いかけにあたる→ 不定詞のみ…want / need / decide など

動名詞のみ…enjoy / stop / finish / 前置詞の後ろなど

2 具体的に考えよう👉

①「何が？」の意味をもつとき

Swimming in the pool / is a lot of fun.

プールで泳ぐことは / とても楽しい。

何が？

To swim in the pool ~
でも OK!

②「何だ！」の意味をもつとき

My hobby is / playing the guitar.

私の趣味は / ギターを弾くことだ。

to play the guitar ~
でも OK!

何だ！

進行形の「~ing」とは違うので注意！

【類題演習1】2つの英文が同じ意味になるように () に適切な語を入れよう。

(1) His job is to drive a car.

His job is () a car.

(2) Communicating with others is difficult.

() () with others is difficult.

(3) She loves to sing a song.

She loves () a song.

【類題演習2】() 内の語を適切な形に変えよう。(ただし1語とは限らない。)

(1) Sayaka decided (be) a singer.

(2) Kenta is good at (play) baseball.

(3) I finished (do) my homework.

(4) You need (go) out.

③「何を？」の意味をもつとき

She likes / playing the guitar.

彼女は好む/ ギターを弾くことを

to play the guitar ~
でも OK!

何を？

【例外！】

I want to play the guitar.

→playing the guitar は×

She enjoyed playing the guitar.

→to play the guitar は×

*「何を？」の位置に動名詞しかとらない動詞の覚え方

Finish

Enjoy

Stop

不定詞しかこない場合は未来のことを表すことが多いよ！

*その他前置詞の

FES(フェス)と覚えよう！

うしろも動名詞のみ！

3 実践アドバイス👉

語形変化・空欄補充で狙われる！

①動詞が別に1つあることを確認！

②2つ目の動詞は変形→不定詞・動名詞・分詞のどれかが問題になる！

③直前に動詞や前置詞があるときは、動名詞の確率が高い！

直前対策シート「動名詞」

1 学習のポイント👉

動名詞 (V+ing) は何 (が・を・だ) = 名詞の働きをする！

→動詞を名詞に変える他の方法は？…不定詞の名詞的用法→「何？」と問いかける用法

【原則】動名詞≡不定詞の名詞的用法

【例外】「何を？」の問いかけにあたる→ 不定詞のみ…want / need / decide など

動名詞のみ…enjoy / stop / finish / 前置詞の後ろなど

2 具体的に考えよう👉

①「何が？」の意味をもつとき

Swimming in the pool / is a lot of fun.

プールで泳ぐことは / とても楽しい。

何が？

To swim in the pool ~
でも OK!

②「何だ！」の意味をもつとき

My hobby is / playing the guitar.

私の趣味は / ギターを弾くことだ。

to play the guitar ~
でも OK!

何だ！

進行形の「~ing」とは違うので注意！

【類題演習1】2つの英文が同じ意味になるように () に適切な語を入れよう。

(1) His job is to drive a car.

His job is () a car. **driving**

(2) Communicating with others is difficult.

() () with others is difficult.

(3) She loves to sing a song.

She loves () a song. **singing**

【類題演習2】() 内の語を適切な形に変えよう。(ただし1語とは限らない。)

(1) Sayaka decided (be) a singer. **to be**

(2) Kenta is good at (play) baseball. **playing**

(3) I finished (do) my homework. **doing**

(4) You need (go) out. **to go**

③「何を？」の意味をもつとき

She likes / playing the guitar.

彼女は好む/ ギターを弾くことを

to play the guitar ~
でも OK!

何を？

【例外！】

I want to play the guitar.

→playing the guitar は×

She enjoyed playing the guitar.

→to play the guitar は×

*「何を？」の位置に動名詞しかとらない動詞の覚え方

Finish

Enjoy

Stop

不定詞しかこない場合は未来のことを表すことが多いよ！

*その他前置詞の

うしろも動名詞のみ！

FES(フェス)と覚えよう！

3 実践アドバイス👉

語形変化・空欄補充で狙われる！

①動詞が別に1つあることを確認！

②2つ目の動詞は変形→不定詞・動名詞・分詞のどれかが問題になる！

③直前に動詞や前置詞があるときは、動名詞の確率が高い！

直前対策シート「分詞」

1 学習のポイント👉

名詞を修飾する2つの分詞を正しく使い分け！

→後ろから前の名詞を修飾する形が中心！

→修飾される名詞との関係を考える！

①現在分詞 (-ing) → 「～している」で前の名詞を説明。

②過去分詞 → 「～された」で前の名詞を説明。

「どんな？」という問いかけ
がポイント！

2 具体的に考えよう👉

①現在分詞 (-ing) の使い方

The boy / is Tom.

どんな？

(公園で走っている)
(running in the park)

→The boy (running in the park) is Tom.

少年は / 公園で走っている / トムだ

②過去分詞の使い方

This is the door.

(ケンにこわされた)
(broken by Ken)

どんな？

→This is the door (broken by Ken).

これはドアだ / ケンにこわされた

*分詞は、必ず修飾される名詞の直後にくる！

【類題演習1】2つの英文を、分詞を使ってまとめよう。

ベースの文	どんな？(修飾語句)	まとめると・・・
The girl is Sayaka	talking with Miyuki	(1)
その少女はさやかだ	みゆきと話している	みゆきと話している少女はさやかだ。
I'm reading the book	written in English	(2)
私は本を読んでいる	英語で書かれた	私は英語で書かれた本を読んでいる。

【類題演習2】() 内の語を適切な形に変えよう。

(1) The girl (talk) with Miyuki is Sayaka.

(2) I'm reading the book (write) in English.

(3) Look at the boys (play) baseball over there.

③前から名詞を修飾する場合

This is an old door. (これは古いドアだ。)

形容詞の代わりに分詞を使うと

→This is a broken door. (これはこわれたドアだ。)

3 実践アドバイス👉

語形変化と整序作文で狙われる！

【語形変化の解き方手順】

・空欄の中に動詞が入っている→他に動詞がある→前に名詞がある→分詞の可能性が高い！！

【整序作文の解き方手順】

→選択肢中に現在分詞か過去分詞があることを確認

・「主語+動詞」の組み合わせを見つける→ベースの文をつくる→「どんな？」にあたる部分を挿入！

* 「be 動詞+ing」で進行形, 「be 動詞+過去分詞」で受け身の場合もあるので要注意！

直前対策シート「分詞」

1 学習のポイント👉

名詞を修飾する2つの分詞を正しく使い分け！

→後ろから前の名詞を修飾する形が中心！

→修飾される名詞との関係を考える！

①現在分詞 (-ing) → 「～している」で前の名詞を説明。

②過去分詞 → 「～された」で前の名詞を説明。

「どんな？」という問いかけ
がポイント！

2 具体的に考えよう👉

①現在分詞 (-ing) の使い方

The boy / is Tom.

どんな？

(公園で走っている)
(running in the park)

→The boy (running in the park) is Tom.

少年は / 公園で走っている / トムだ

②過去分詞の使い方

This is the door.

(ケンにこわされた)
(broken by Ken)

どんな？

→This is the door (broken by Ken).

これはドアだ / ケンにこわされた

*分詞は、必ず修飾される名詞の直後にくる！

【類題演習1】2つの英文を、分詞を使ってまとめよう。

ベースの文	どんな？(修飾語句)	まとめると・・・
The girl is Sayaka	talking with Miyuki	(1) The girl talking with Miyuki is Sayaka.
その少女はさやかだ	みゆきと話している	みゆきと話している少女はさやかだ。
I'm reading the book	written in English	(2) I'm reading the book written in English.
私は本を読んでいる	英語で書かれた	私は英語で書かれた本を読んでいる。

【類題演習2】() 内の語を適切な形に変えよう。

(1) The girl (talk) with Miyuki is Sayaka.
talking

(2) I'm reading the book (write) in English.
written

(3) Look at the boys (play) baseball over there.
playing

③前から名詞を修飾する場合

This is an old door. (これは古いドアだ。)

形容詞の代わりに分詞を使うと

→This is a broken door. (これはこわれたドアだ。)

3 実践アドバイス👉

語形変化と整序作文で狙われる！

【語形変化の解き方手順】

・空欄の中に動詞が入っている→他に動詞がある→前に名詞がある→分詞の可能性が高い！！

【整序作文の解き方手順】

→選択肢中に現在分詞か過去分詞があることを確認

・「主語+動詞」の組み合わせを見つける→ベースの文をつくる→「どんな？」にあたる部分を挿入！

*「be 動詞+ing」で進行形, 「be 動詞+過去分詞」で受け身の場合もあるので要注意！

直前対策シート「関係代名詞」

1 学習のポイント

関係代名詞は「どんな？」と前の名詞を修飾する！

→使い分けのポイントは「前見て後見て」

①前見て…前の名詞が「人」か「物」か。

②後見て…関係代名詞の後ろに何がきているか。→「動詞」か「主語か」

2 具体的に考えよう

①関係代名詞の選び方

The boy is Tom. + He is running in the park.

⇒先行詞が人で[前見て]

⇒He(主語)の代わり[後見て]をする関係代名詞

=who

→The boy who is running in the park is Tom.

The boy is Tom. + You met him yesterday.

⇒先行詞が人で[前見て]

⇒him(目的格)の代わり[後見て]をする関係代名詞

=that(who)

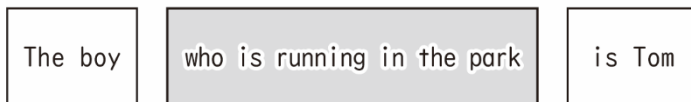
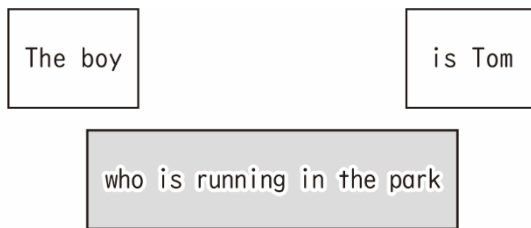
→The boy who you met yesterday is Tom.

②関係代名詞の位置

修飾する名詞の直後！どこにでも割り込める！

(ベースの文) The boy is Tom.

(関係代名詞の文) who is running in the park.



⇒The boy (who is running in the park) is Tom.

【類題演習1】表に適切な関係代名詞を入れよう。

先行詞	He / It	him / it
人		
モノ		
両方		

この列は省略OK！

【類題演習2】関係代名詞を使い2文をつなごう。

(1)ベースの文：Sayaka is a girl.

関係代名詞の文：She likes dogs.

⇒

(2)ベースの文：Look at the building.

関係代名詞の文：It stands on the hill.

⇒

(3)ベースの文：This is a book.

関係代名詞の文：I wrote it 10 years ago.

⇒

【類題演習3】関係代名詞を使わず2文をつなごう。

(1)ベースの文：Sayaka is a girl.

修飾する文：I know her very well.

⇒

(2)ベースの文：This is the most difficult story.

修飾する文：I have ever read it.

⇒

3 実践アドバイス

整序作文で狙われる！

①ベースの文と関係代名詞の文に分けて考える。

②修飾される名詞の直後に置く。…「どんな？」の問いかけがポイント。

③関係代名詞省略の場合…主語と動詞が2ペアあるのにつなぐ言葉がなければ関係代名詞の省略を疑え！

ex) The songs (she / are / very good / sings). ⇒ The songs are very good. + she sings / どんな？

⇒The songs ().

直前対策シート「関係代名詞」

1 学習のポイント

関係代名詞は「どんな？」と前の名詞を修飾する！

→使い分けのポイントは「前見て後見て」

①前見て…前の名詞が「人」か「物」か。

②後見て…関係代名詞の後ろに何がきているか。→「動詞」か「主語か」

2 具体的に考えよう

①関係代名詞の選び方

The boy is Tom. + He is running in the park.

⇒先行詞が人で[前見て]

⇒He（主語）の代わり[後見て]をする関係代名詞

=who

→The boy who is running in the park is Tom.

The boy is Tom. + You met him yesterday.

⇒先行詞が人で[前見て]

⇒him(目的格)の代わり[後見て]をする関係代名詞

=that(who)

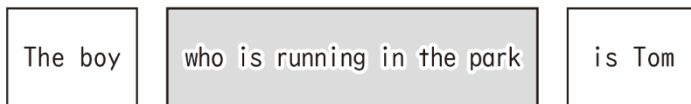
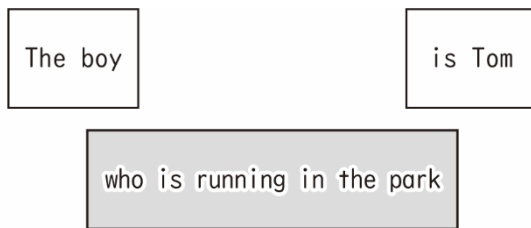
→The boy who you met yesterday is Tom.

②関係代名詞の位置

修飾する名詞の直後！どこにでも割り込める！

(ベースの文) The boy is Tom.

(関係代名詞の文) who is running in the park.



⇒The boy (who is running in the park) is Tom.

【類題演習 1】表に適切な関係代名詞を入れよう。

先行詞	He / It	him / it
人	who	that(who)
モノ	which	which
両方	that	that

この列は省略 OK！

【類題演習 2】関係代名詞を使い2文をつなごう。

(1)ベースの文：Sayaka is a girl.

関係代名詞の文：She likes dogs.

⇒ Sayaka is a girl who likes dogs.

(2)ベースの文：Look at the building.

関係代名詞の文：It stands on the hill.

⇒ Look at the building which stands on the hill.

(3)ベースの文：This is a book.

関係代名詞の文：I wrote it 10 years ago.

⇒ This is a book which I wrote 10 years ago.

【類題演習 3】関係代名詞を使わず2文をつなごう。

(1)ベースの文：Sayaka is a girl.

修飾する文：I know her very well.

⇒ Sayaka is a girl I know very well.

(2)ベースの文：This is the most difficult story.

修飾する文：I have ever read it.

⇒ This is the most difficult story I have ever read.

3 実践アドバイス

整序作文で狙われる！

①ベースの文と関係代名詞の文に分けて考える。

②修飾される名詞の直後に置く。…「どんな？」の問いかけがポイント。

③関係代名詞省略の場合…主語と動詞が2ペアあるのにつなぐ言葉がなければ関係代名詞の省略を疑え！

ex) The songs (she / are / very good / sings). ⇒ The songs are very good. + she sings / どんな？

⇒ The songs (she sings are very good).

直前対策シート「比較」

1 学習のポイント👉

比較3パターンのイメージをつかむ！

→比較3パターンのイメージは？

基本形…形が変わるのは形容詞か副詞

①比較級→| 対 | で比べて、「>」で表す方法。

①比較級…er + than

②原級→| 対 | で比べて、「=」で表す方法。

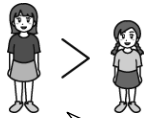
②原級…as as

③最上級→集団の中で比べて、「1番」を表す方法。

③最上級…the est in / of

2 具体的に考えよう👉

①比較級→| 対 | で比べて、「>」で表す方法

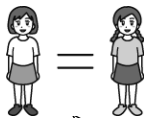


Sakura is taller / than Sayaka.

さくらは背が高い / さやかより

「>」マークがthanを表現！

②原級→| 対 | で比べて、「=」で表す方法



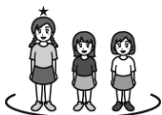
Miyuki is as tall / as Sayaka.

みゆきは背が高い / さやかと同じくらい

彼女は公園に行った / 友達と遊ぶために

「=」マークがas~asを表現！

③最上級→集団の中で比べて、「1番」を表す方法



Sayaka is the tallest / in the group

さやかは1番背が高い / そのグループで

グループ名なら「in」

複数の中なら「of」を使う！

【類題演習1】日本語に合うよう、()内の語を適切な形に変えよう。

(1) けんたはたくやより速く走ることができる。

Kenta can run () than Takuya.

(2) この本は全ての中で1番おもしろい。

This book is the most interesting () all.

(3) 彼女の机は私のと同じくらい古い。

Her desk is () old () mine.

【類題演習2】()の語句を適切に並べ替えよう。

(1) (than / can / Kenta / faster / run) Takuya.

(2) This book (of / interesting / all / is / most / the).

(3) Her desk (old / as / as / mine / is).

【類題演習3】()に入る適切な語句を選ぼう。

(1) Sayaka has as () books as Takuya.
more / most / many

(2) Sayaka has the () books of the four.
more / most / many

(3) Sayaka has () books than Kenta.
more / most / many

3 実践アドバイス👉

語形変化で狙われる！

①空欄前後の形から比較級・最上級のどちらか判断！

→比較級なら than, 最上級なら the や in・of に着目する。

②例外変化に注意！

→big…bigger・biggest / happy…happier・happiest / good(well)…better・best など

ex) Sayaka can play the guitar the (well) in her class. →前の「the」と後ろの「in」がヒント！

→

直前対策シート「比較」

1 学習のポイント

比較3パターンのイメージをつかむ！

→比較3パターンのイメージは？

基本形…形が変わるのは形容詞か副詞

①比較級→I対Iで比べて、「>」で表す方法。

①比較級…er + than

②原級→I対Iで比べて、「=」で表す方法。

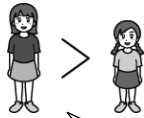
②原級…as as

③最上級→集団の中で比べて、「I番」を表す方法。

③最上級…the est in / of

2 具体的に考えよう

①比較級→I対Iで比べて、「>」で表す方法

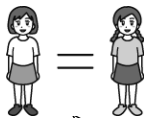


Sakura is taller / than Sayaka.

さくらは背が高い / さやかより

「>」マークがthanを表現！

②原級→I対Iで比べて、「=」で表す方法



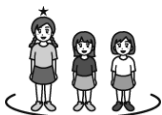
Miyuki is as tall / as Sayaka.

みゆきは背が高い / さやかと同じくらい

彼女は公園に行った / 友達と遊ぶために

「=」マークがas~asを表現！

③最上級→集団の中で比べて、「I番」を表す方法



Sayaka is the tallest / in the group

さやかはI番背が高い / そのグループで

グループ名なら「in」

複数の中なら「of」を使う！

【類題演習1】日本語に合うよう、()内の語を適切な形に変えよう。

(1) けんたはたくやより速く走ることができる。

Kenta can run () than Takuya. **faster**

(2) この本は全ての中でI番おもしろい。

This book is the most interesting (**of**) all.

(3) 彼女の机は私のと同じくらい古い。

Her desk is (**as**) old (**as**) mine.

【類題演習2】()の語句を適切に並べ替えよう。

(1) (than / can / Kenta / faster / run) Takuya.

Kenta can run faster than

(2) This book (of / interesting / all / is / most / the).

is the most interesting of all

(3) Her desk (old / as / as / mine / is).

is as old as mine

【類題演習3】()に入る適切な語句を選ぼう。

(1) Sayaka has as () books as Takuya.

more / most / **many**

(2) Sayaka has the () books of the four.

more / **most** / many

(3) Sayaka has () books than Kenta.

more / most / many

3 実践アドバイス

語形変化で狙われる！

①空欄前後の形から比較級・最上級のどちらか判断！

→比較級なら than, 最上級なら the や in・of に着目する。

②例外変化に注意！

→big…bigger・biggest / happy…happier・happiest / good(well)…better・best など

ex) Sayaka can play the guitar the (well) in her class. →前の「the」と後ろの「in」がヒント！

→**best**

直前対策シート「接続詞・間接疑問文」

1 学習のポイント

接続詞は意味、間接疑問文は語順注意！

→文（主語+動詞）と文（主語+動詞）をつなぐ働き

①対比を表す接続詞…but / although など

②因果を表す接続詞…because / so / so～that 主語+動詞

③時や条件を表す接続詞…when / after / before / until / since / if

2 具体的に考えよう

①接続詞…文と文をつなぐ働き。

⇒どんな意味でつなぐかによって、使い分ける！

＊読解で問われやすい接続詞

文脈	接続詞	意味
逆接 (⇄)	but	しかし
	although	～だけれども
因果 (⇒)	so…	だから…
	so～that…	とても～だから…
因果 (⇐)	because	～だから

＊セットで使われるもの

接続詞	意味
both A and B	A と B の両方とも
either A or B	A か B かどちらか
not only A but (also) B	A だけでなく B も

②間接疑問文…疑問詞が文と文をつなぐ働きをする。

⇒接続詞と同じような使い方をするので語順注意！

I didn't know .

何を？→「彼がどこに行ったか」

where を接続詞
として使う！

後ろは
主語+動詞の順！

I didn't know where he went.

【類題演習1】() 内に適切な語を入れよう。

(1) He was so tired () he stayed at home.

[because / but / that]

(2) Kenta likes both baseball () soccer.

[or / and / but]

(3) We have known each other () we were young.

[since / before / when]

【類題演習2】() 内の語句を並べ替えて適切な英文をつくろう。

(1) I don't know (in / the box / was / what).

(2) Please tell (how / me / should / I / go) there.

(3) Do you (will / come back / she / know / when)?

(4) I want to know (books / are / many / how / in the library / there).

3 実践アドバイス

間接疑問文は整序作文で狙われる！

①「主語+動詞」の数-1=接続詞の数

→原則、「主語+動詞」-1 の数の接続詞が疑問詞以外になければ、間接疑問文であることを疑え！

②疑問詞の後ろには必ず「主語+動詞」の語順で並べる！

→疑問文の語順ではないので要注意！特に、3人称単数の-s や過去形にするのを忘れないように！

直前対策シート「接続詞・間接疑問文」

1 学習のポイント

接続詞は意味、間接疑問文は語順注意！

→文（主語+動詞）と文（主語+動詞）をつなぐ働き

①対比を表す接続詞…but / although など

②因果を表す接続詞…because / so / so～that 主語+動詞

③時や条件を表す接続詞…when / after / before / until / since / if

2 具体的に考えよう

①接続詞…文と文をつなぐ働き。

⇒どんな意味でつなぐかによって、使い分ける！

＊読解で問われやすい接続詞

文脈	接続詞	意味
逆接 (⇄)	but	しかし
	although	～だけれども
因果 (⇒)	so…	だから…
	so～that…	とても～だから…
因果 (⇐)	because	～だから

＊セットで使われるもの

接続詞	意味
both A and B	A と B の両方とも
either A or B	A か B かどちらか
not only A but (also) B	A だけでなく B も

②間接疑問文…疑問詞が文と文をつなぐ働きをする。

⇒接続詞と同じような使い方をするので語順注意！

I didn't know .

何を？→「彼がどこに行ったか」

where を接続詞
として使う！

後ろは
主語+動詞の順！

I didn't know where he went.

【類題演習1】() 内に適切な語を入れよう。

(1) He was so tired () he stayed at home.

[because / but / **that**]

(2) Kenta likes both baseball () soccer.

[or / **and** / but]

(3) We have known each other () we were young.

[since / before / when]

【類題演習2】() 内の語句を並べ替えて適切な英文をつくろう。

(1) I don't know (in / the box / was / what).

what was in the box

(2) Please tell (how / me / should / I / go) there.

me how I should go

(3) Do you (will / come back / she / know / when)?

know when she will come back

(4) I want to know (books / are / many / how / in the library / there).

how many books there are in the library

3 実践アドバイス

間接疑問文は整序作文で狙われる！

①「主語+動詞」の数-1=接続詞の数

→原則、「主語+動詞」-1 の数の接続詞が疑問詞以外になければ、間接疑問文であることを疑え！

②疑問詞の後ろには必ず「主語+動詞」の語順で並べる！

→疑問文の語順ではないので要注意！特に、3人称単数の-s や過去形にするのを忘れないように！

直前対策シート「疑問文・感嘆文」

1 学習のポイント👉

疑問文・感嘆文のつくり方の手順をおさえよう！

【疑問文】

- ①be 動詞型か一般動詞型か判断→それぞれの動詞に応じたつくり方！
- ②疑問詞付きの場合→何を疑問詞に置き換えるか判断！

【感嘆文】

- ①強調したい語句が名詞のカタマリ→what
形容詞・副詞のカタマリ→how
- ②語順→強調部分を文頭に置いて「主語+動詞」の順

2 具体的に考えよう👉

①疑問文…疑問詞付き疑問文のつくり方

- ・手順1…何を疑問詞に置き換えるか。

Sayaka played the guitar in her room.

「どこで？」→where

- ・手順2…置き換えた疑問詞を文頭に。

Where Sayaka played the guitar.

- ・手順3…疑問文つくりのルール通りに。

Where did Sayaka play the guitar?

*主語を疑問詞に置き換えるときは要注意！

Who broke the window? ←「主語+動詞」の順！

②感嘆文

- ・手順1…very のついているカタマリを探す！
⇒カタマリに名詞がある…what

ない…how

Kenta is a very good player. ⇒名詞有

Kenta plays baseball very well. ⇒名詞無

- ・手順2…カタマリを文頭に出して、「主語+動詞」を置く。

What a good player Kenta is!

How well Kenta plays baseball!

【類題演習1】下線部をたずねる疑問文をつくろう。

(1) Kenta plays baseball every Sunday.

(2) They ate lunch in the park.

(3) Her mother made this doll for her.

(4) Sayaka has twenty books in her room.

(5) Columbus found out America.

(6) His pen was in the box.

(7) He has lived in Osaka for three years.

(8) Sayaka will be twenty years old next week.

【類題演習2】() に適切な語を入れよう。

(1) () kind Sayaka is!

(2) () a difficult question this is!

3 実践アドバイス👉

英作文で狙われる！

- ① 何を疑問詞に置き換えるか。
- ② be 動詞型の疑問文のつくり方か一般動詞型の疑問文のつくり方か判断する。
- ③ 主語が疑問詞に置き換えられるときは要注意！

直前対策シート「疑問文・感嘆文」

1 学習のポイント👉

疑問文・感嘆文のつくり方の手順をおさえよう！

【疑問文】

- ①be 動詞型か一般動詞型か判断→それぞれの動詞に応じたつくり方！
- ②疑問詞付きの場合→何を疑問詞に置き換えるか判断！

【感嘆文】

- ①強調したい語句が名詞のカタマリ→what
形容詞・副詞のカタマリ→how
- ②語順→強調部分を文頭に置いて「主語+動詞」の順

2 具体的に考えよう👉

①疑問文…疑問詞付き疑問文のつくり方

- ・手順1…何を疑問詞に置き換えるか。

Sayaka played the guitar in her room.

「どこで？」→where

- ・手順2…置き換えた疑問詞を文頭に。

Where Sayaka played the guitar.

- ・手順3…疑問文つくりのルール通りに。

Where did Sayaka play the guitar?

*主語を疑問詞に置き換えるときは要注意！

Who broke the window? ←「主語+動詞」の順！

②感嘆文

- ・手順1…very のついているカタマリを探す！
⇒カタマリに名詞がある…what

ない…how

Kenta is a very good player. ⇒名詞有

Kenta plays baseball very well. ⇒名詞無

- ・手順2…カタマリを文頭に出して、「主語+動詞」を置く。

What a good player Kenta is!

How well Kenta plays baseball!

【類題演習1】下線部をたずねる疑問文をつくろう。

(1) Kenta plays baseball every Sunday.

When does Kenta play baseball?

(2) They ate lunch in the park.

Where did they eat lunch?

(3) Her mother made this doll for her.

What did her mother make for her?

(4) Sayaka has twenty books in her room.

How many books does Sayaka have in her room?

(5) Columbus found out America.

Who found out America?

(6) His pen was in the box.

Whose pen was in the box?

(7) He has lived in Osaka for three years.

How long has he lived in Osaka?

(8) Sayaka will be twenty years old next week.

How old will Sayaka be next week?

【類題演習2】() に適切な語を入れよう。

(1) (**How**) kind Sayaka is!

(2) (**What**) a difficult question this is!

3 実践アドバイス👉

英作文で狙われる！

- ① 何を疑問詞に置き換えるか。
- ② be 動詞型の疑問文のつくり方が一般動詞型の疑問文のつくり方が判断する。
- ③ 主語が疑問詞に置き換えられるときは要注意！

直前対策シート「名詞・代名詞」

1 学習のポイント

名詞は数えられるかどうか、代名詞は変化をおさえよう！

- ①位置によって代名詞を使い分ける。
- ②another/the other などのイメージの違いを理解する。

2 具体的に考えよう

①名詞…数えられる名詞かどうかの判断。

ex) book…数えられる ⇔ water…数えられない

数えられる名詞かどうかの問題になる場合

	たくさん	いくつか
数えられる	many	a few
数えられない	much	a little
どちらでも OK	a lot of	some

②代名詞…位置と単独で使えるかどうかの判断。

【必ず主語の位置にくる代名詞=主格】

I / you / he / she / it / we / they

【必ず目的語の位置にくる代名詞=目的格】

me / you / him / her / it / us / them

【必ず名詞とセットで使われる代名詞=所有格】

my / your / his / her / its / our / their

【所有格+名詞を1語で表す代名詞=所有代名詞】

mine / yours / his / hers / its / ours / theirs

③another の使い方。

another…いくつか
ある中の他の1つ

●○○
one 残り2つの内
どちらか

the other…2つの
内のもう1つ

●○
one 残りの1つ

【類題演習1】() に当てはまる語を選ぼう。

(1) How many () do you have?

[water / dogs]

(2) We have () snow every year.

[a few / a little]

【類題演習2】() に当てはまる語を選ぼう。

(1) () play baseball after school.

[She / You / Our / Them]

(2) () studies English every day.

[I / We / He / His]

(3) () are my friends.

[It / I / She / They]

(4) Sayaka doesn't know ().

[my / me / our / he]

(5) I wrote ().

[their / her / it's / it]

(6) () school is here.

[We / Us / I / My]

(7) Do you know () name?

[hers / us / me / her]

(8) I want ().

[their / our / your / his]

【類題演習3】() に当てはまる語句を選ぼう。

A: Oh, there are many T-shirts.

B: This one is very good.

A: But I don't like red. Please show me ().

[another / the other]

3 実践アドバイス

空欄補充で狙われる！

①数えられる名詞かどうかの判断…その単語が複数形 (-s) になっているかどうか。

②どの代名詞を使うかどうかの判断…空欄の位置と単独で使っているかどうか。

⇒所有格が入る場合は後ろに名詞があるはず！

③the other が答えになるときは、前に「two」という数が登場していることが多い。

直前対策シート「名詞・代名詞」

1 学習のポイント

名詞は数えられるかどうか、代名詞は変化をおさえよう！

- ①位置によって代名詞を使い分ける。
- ②another/the other などのイメージの違いを理解する。

2 具体的に考えよう

①名詞…数えられる名詞かどうかの判断。

ex) book…数えられる ⇔ water…数えられない

数えられる名詞かどうかの問題になる場合

	たくさん	いくつか
数えられる	many	a few
数えられない	much	a little
どちらでも OK	a lot of	some

②代名詞…位置と単独で使えるかどうかの判断。

【必ず主語の位置にくる代名詞=主格】

I / you / he / she / it / we / they

【必ず目的語の位置にくる代名詞=目的格】

me / you / him / her / it / us / them

【必ず名詞とセットで使われる代名詞=所有格】

my / your / his / her / its / our / their

【所有格+名詞を1語で表す代名詞=所有代名詞】

mine / yours / his / hers / its / ours / theirs

③another の使い方。

another…いくつか
ある中の他の1つ

● ○ ○
one 残り2つの内
どちらか

the other…2つの
内のもう1つ

● ○
one 残りの1つ

【類題演習1】() に当てはまる語を選ぼう。

(1) How many () do you have?

[water / dogs]

(2) We have () snow every year.

[a few / a little]

【類題演習2】() に当てはまる語を選ぼう。

(1) () play baseball after school.

[She / You / Our / Them]

(2) () studies English every day.

[I / We / He / His]

(3) () are my friends.

[It / I / She / They]

(4) Sayaka doesn't know ().

[my / me / our / he]

(5) I wrote ().

[their / her / it's / it]

(6) () school is here.

[We / Us / I / My]

(7) Do you know () name?

[hers / us / me / her]

(8) I want ().

[their / our / your / his]

【類題演習3】() に当てはまる語句を選ぼう。

A: Oh, there are many T-shirts.

B: This one is very good.

A: But I don't like red. Please show me ().

[another / the other]

3 実践アドバイス

空欄補充で狙われる！

- ①数えられる名詞かどうかの判断…その単語が複数形 (-s) になっているかどうか。
- ②どの代名詞を使うかどうかの判断…空欄の位置と単独で使っているかどうか。
⇒所有格が入る場合は後ろに名詞があるはず！
- ③the other が答えになるときは、前に「two」という数が登場していることが多い。

直前対策シート「前置詞」

1 学習のポイント

「前置詞+名詞」で1つのカタマリをつくる！

→それぞれの前置詞のイメージをとらえる。

①時を表す…in / on / at / after / before / for / during / since など

②場所を表す…in / on / at / to / under / by / near など

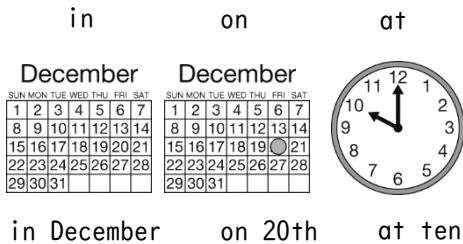
③その他…in front of (～の前に) / between A and B (AとBの間に) など

2 具体的に考えよう

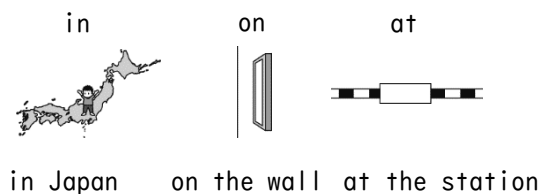
① in / on / at のイメージの違い



→「時」にあてはめると…



→「場所」にあてはめると…



② for と since の違い→現在完了形で出題



【類題演習】() 内に入る適切な前置詞を選ぼう。

(1) This building was built () 2001.

ア) on イ) at ウ) in エ) since

(2) Sayaka has breakfast () seven.

ア) on イ) at ウ) in エ) for

(3) He went shopping () Shibuya.

ア) on イ) for ウ) in エ) to

(4) We have been known each other () ten years.

ア) after イ) before ウ) since エ) for

(5) He has been busy () last week.

ア) after イ) before ウ) since エ) for

(6) The hotel is () front of Kyoto station.

ア) on イ) at ウ) in エ) to

(7) Sayaka is () Miyuki and Sakura.

ア) for イ) during ウ) between エ) in

(8) I had a good time () summer vacation.

ア) for イ) since ウ) during エ) in

3 実践アドバイス

空欄補充で狙われる！

①空欄に前置詞が入る場合は後ろに必ず名詞がある！

②時制チェック→現在完了形の文なら since か for

③動詞チェック→belong to～ (～に属する), listen to～ (～を聞く), take care of～ (～の世話をする) など、動詞とのセットにも注意！

直前対策シート「前置詞」

1 学習のポイント

「前置詞+名詞」で1つのカタマリをつくる！

→それぞれの前置詞のイメージをとらえる。

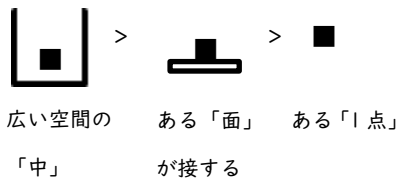
①時を表す…in / on / at / after / before / for / during / since など

②場所を表す…in / on / at / to / under / by / near など

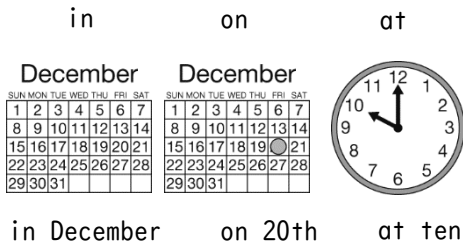
③その他…in front of (～の前に) / between A and B (AとBの間に) など

2 具体的に考えよう

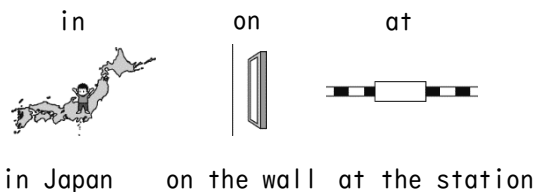
① in / on / at のイメージの違い



→「時」にあてはめると…



→「場所」にあてはめると…



② for と since の違い→現在完了形で出題



【類題演習】() 内に入る適切な前置詞を選ぼう。

(1) This building was built (**ウ**) 2001.

ア) on イ) at ウ) in エ) since

(2) Sayaka has breakfast (**イ**) seven.

ア) on イ) at ウ) in エ) for

(3) He went shopping (**ウ**) Shibuya.

ア) on イ) for ウ) in エ) to

(4) We have been known each other (**エ**) ten years.

ア) after イ) before ウ) since エ) for

(5) He has been busy (**ウ**) last week.

ア) after イ) before ウ) since エ) for

(6) The hotel is (**ウ**) front of Kyoto station.

ア) on イ) at ウ) in エ) to

(7) Sayaka is (**ウ**) Miyuki and Sakura.

ア) for イ) during ウ) between エ) in

(8) I had a good time (**ウ**) summer vacation.

ア) for イ) since ウ) during エ) in

3 実践アドバイス

空欄補充で狙われる！

①空欄に前置詞が入る場合は後ろに必ず名詞がある！

②時制チェック→現在完了形の文なら since か for

③動詞チェック→belong to～ (～に属する), listen to～ (～を聞く), take care of～ (～の世話をする) など、動詞とのセットにも注意！

直前対策シート「語い」

1 学習のポイント👉

動詞の使い方を理解しよう！

→動詞の後ろの形はほぼ決まっている！

よくでる形は…

①主語+動詞+【人】+【物】⇒「【人】に【物】を～してあげる」

②主語+動詞+【A】+【B】⇒「【A】が【B】の状態だ」

2 具体的に考えよう👉

①主語+動詞+【人】+【物】の形をとる動詞

⇒動詞の後ろは「誰に」「何を」の順！

動詞	意味	例文
give	与える	I gave her this present.
show	見せる	He showed us this picture.
tell	話す	She told me a nice story.
send	送る	He sent his son this letter.
make	作る	She made us some cookies.
buy	買う	He bought me this book.
ask	尋ねる	I asked him some questions.

②主語+動詞+【A】+【B】の形をとる動詞

⇒動詞の後ろは「Aが」「Bだ」の順！

動詞	意味	例文
call	呼ぶ	We call him Ken.
name	名付ける	He named me Sayaka.
make	させる	Her song made me happy.
keep	保つ	I kept my room clean.

*The news made me happy.

me=A（私が）happy=B（幸せな）状態になる

⇒ここでの make の意味…「私」を「幸せに」する

【類題演習1】（ ）内の語句を適切な順に並べ替えよう。

(1) My mother (her son / some books / gave).

(2) I (my wife / bought / some flowers).

(3) Please (the way / me / to the station / tell).

(4) Can you (your photos / me / show)?

【類題演習2】（ ）内の語句を適切な順に並べ替えよう。

(1) My friends (call / Mike / me).

(2) My (me / Tom / parents / named) after my grandfather.

(3) He (open / kept / the door).

(4) What (sad / made / her)?

3 実践アドバイス👉

整序作文で狙われる！

①「主語」+「動詞」の組み合わせを見つける。

②その動詞の後ろにどういう形がくるか判断する。

*特に make は要注意！

直前対策シート「語い」

1 学習のポイント👉

動詞の使い方を理解しよう！

→動詞の後ろの形はほぼ決まっている！

よくでる形は…

①主語+動詞+【人】+【物】⇒「【人】に【物】を～してあげる」

②主語+動詞+【A】+【B】⇒「【A】が【B】の状態だ」

2 具体的に考えよう👉

①主語+動詞+【人】+【物】の形をとる動詞

⇒動詞の後ろは「誰に」「何を」の順！

動詞	意味	例文
give	与える	I gave her this present.
show	見せる	He showed us this picture.
tell	話す	She told me a nice story.
send	送る	He sent his son this letter.
make	作る	She made us some cookies.
buy	買う	He bought me this book.
ask	尋ねる	I asked him some questions.

②主語+動詞+【A】+【B】の形をとる動詞

⇒動詞の後ろは「Aが」「Bだ」の順！

動詞	意味	例文
call	呼ぶ	We call him Ken.
name	名付ける	He named me Sayaka.
make	させる	Her song made me happy.
keep	保つ	I kept my room clean.

*The news made me happy.

me=A（私が）happy=B（幸せな）状態になる

⇒ここでの make の意味…「私」を「幸せに」する

【類題演習1】（ ）内の語句を適切な順に並べ替えよう。

(1) My mother (her son / some books / gave).
gave her son some books

(2) I (my wife / bought / some flowers).
bought my wife some flowers

(3) Please (the way / me / to the station / tell).
tell me the way to the station

(4) Can you (your photos / me / show)?
show me your photos

【類題演習2】（ ）内の語句を適切な順に並べ替えよう。

(1) My friends (call / Mike / me).
call me Mike

(2) My (me / Tom / parents / named) after my grandfather.
Parents name me Tom

(3) He (open / kept / the door).
kept the door open

(4) What (sad / made / her)?
made her sad

3 実践アドバイス👉

整序作文で狙われる！

①「主語」+「動詞」の組み合わせを見つける。

②その動詞の後ろにどういう形がくるか判断する。

*特に make は要注意！

直前対策シート「テーマ」

1 学習のポイント👉

英文のテーマ・主張はここにある！

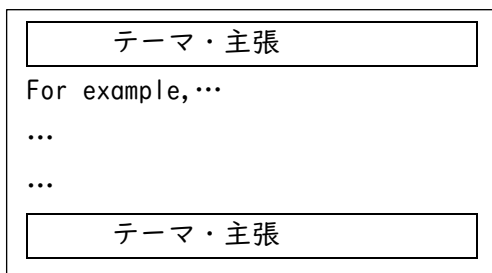
- ① 本文冒頭・末尾
- ② 逆接を表す語句の後ろ
- ③ 疑問文・間接疑問文の文＝問題提起
- ④ 「I think～」や「important」、「should」などのキーワードを含む文

2 具体的に考えよう👉

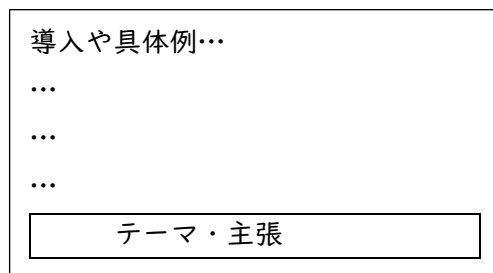
- ① テーマ・主張が本文冒頭・末尾にある。

→英文の展開2パターン

(パターン1)



(パターン2)



- ② 逆接を表す語句の後ろに主張・テーマがくる。

→逆接を表す語句...これらの語句の後ろには主張・テーマがくるのでしっかりおさえる。

- ・ but : しかし
- ・ however : しかし
- ・ on the other hand : 一方で
- ・ although [though] : ~だけれども

- ③ 問題提起の答えが主張やテーマになる。

→疑問文や疑問詞をみたら要チェック！

- ④ 「I think～」や「important」、「should」などのキーワードを含む文

【類題演習】次の文からテーマにあたる部分を選ぼう。

(1) ♪ Some people say ♪ it is better to have many friends but ♪ I don't think so.

(2) ♪ Today's topic is about ♪ how young people should communicate with older people.

(3) ♪ It's important to have many friends. For example, if ♪ you have many friends, ♪ you can learn many things from them.

3 実践アドバイス👉

主張・テーマの読み取りは英文読解の基本！

★主張・テーマはチェックしながら英文を読もう！

①本文冒頭・末尾, ②逆接を表す語句, ③疑問文・疑問詞, ④主張・テーマを導くキーワードに注意すれば, 主張・テーマを簡単に見つけることができる！

直前対策シート「テーマ」

1 学習のポイント👉

英文のテーマ・主張はここにある！

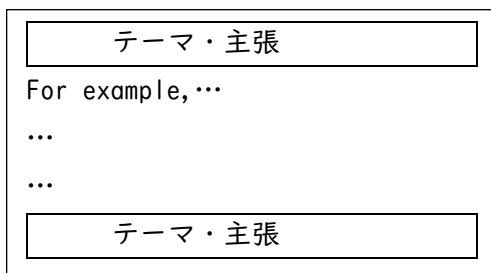
- ① 本文冒頭・末尾
- ② 逆接を表す語句の後ろ
- ③ 疑問文・間接疑問文の文＝問題提起
- ④ 「I think～」や「important」、「should」などのキーワードを含む文

2 具体的に考えよう👉

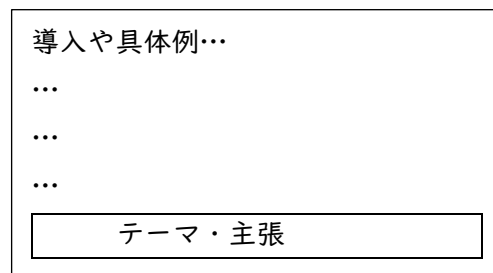
- ① テーマ・主張が本文冒頭・末尾にある。

→英文の展開2パターン

(パターン1)



(パターン2)



- ② 逆接を表す語句の後ろに主張・テーマがくる。

→逆接を表す語句...これらの語句の後ろには主張・テーマがくるのでしっかりおさえる。

- ・ but : しかし
- ・ however : しかし
- ・ on the other hand : 一方で
- ・ although [though] : ~だけれども

- ③ 問題提起の答えが主張やテーマになる。

→疑問文や疑問詞をみたら要チェック！

- ④ 「I think～」や「important」、「should」などのキーワードを含む文

【類題演習】次の文からテーマにあたる部分を選ぼう。

(1) ア Some people say イ it is better to have many friends but ウ I don't think so.

ウ

(2) ア Today's topic is about イ how young people should communicate with older people.

イ

(3) ア It's important to have many friends. For example, if イ you have many friends, ウ you can learn many things from them.

ア

3 実践アドバイス👉

主張・テーマの読み取りは英文読解の基本！

★主張・テーマはチェックしながら英文を読もう！

①本文冒頭・末尾, ②逆接を表す語句, ③疑問文・疑問詞, ④主張・テーマを導くキーワードに注意すれば, 主張・テーマを簡単に見つけることができる！

直前対策シート「言い換え」

1 学習のポイント👉

「抽象」⇒「具体」の流れをおさえよう！

→「言い換え」表現を見つける問題の解法2パターン

①語いの問題

②「抽象」⇒「具体」を手掛かりに推測する問題

2 具体的に考えよう👉

①語いの問題…同意表現を整理

英単語	同意表現	意味
big	large	大きい
little	small	小さい
difficult	hard	難しい
quiet	silent	静かな
fast	quick	速い
guest	visitor	ゲスト
arrive at	reach	到着する
find	discover	発見する
start	begin	始める
leave	start	出発する
close	shut	閉める
give up	stop	やめる

【類題演習】〈 〉内から表に当てはまる同意表現を選ぼう。また、それぞれの単語の意味を書こう。

英単語	同意表現	意味
big		
little		
difficult		
quiet		
fast		
guest		
arrive at		
find		
start		
leave		
close		
give up		

②「抽象」⇒「具体」の流れを活用する問題

- ・下線部の単語の意味を「推測」する。
 - 下線部の後ろに具体的な内容が説明されている。
 - 「具体」的な説明部分ヒントにして解答する。
- ・something の内容が問われる。
 - something「何か」の具体的な内容が解答になる。
 - somethingの「具体」的な内容を把握する。
- ・some～の例を挙げる。
- ・for example（例えば）の前後を見る。

〈 stop / small / hard / begin / start / silent / reach / visitor / shut / large / quick / discover 〉

3 実践アドバイス👉

下線部の意味を問う問題で狙われる！

- ・設問では、「抽象」の部分に下線部が引かれていて、「具体」の部分に答えることが多い。

→下線部の後ろに着目する。

ex) I learned some important rules. One of them is to protect turtles on the beach.

→下線部の内容を具体的に説明してみよう。→下線部の後ろが解答！

→

直前対策シート「言い換え」

1 学習のポイント👉

「抽象」⇒「具体」の流れをおさえよう！

→「言い換え」表現を見つける問題の解法2パターン

①語いの問題

②「抽象」⇒「具体」を手掛かりに推測する問題

2 具体的に考えよう👉

①語いの問題…同意表現を整理

英単語	同意表現	意味
big	large	大きい
little	small	小さい
difficult	hard	難しい
quiet	silent	静かな
fast	quick	速い
guest	visitor	ゲスト
arrive at	reach	到着する
find	discover	発見する
start	begin	始める
leave	start	出発する
close	shut	閉める
give up	stop	やめる

【類題演習】〈 〉内から表に当てはまる同意表現を選ぼう。また、それぞれの単語の意味を書こう。

英単語	同意表現	意味
big	large	大きい
little	small	小さい
difficult	hard	難しい
quiet	silent	静かな
fast	quick	速い
guest	visitor	ゲスト
arrive at	reach	到着する
find	discover	発見する
start	begin	始める
leave	start	出発する
close	shut	閉める
give up	stop	やめる

②「抽象」⇒「具体」の流れを活用する問題

- ・下線部の単語の意味を「推測」する。
 - 下線部の後ろに具体的な内容が説明されている。
 - 「具体」的な説明部分ヒントにして解答する。
- ・something の内容が問われる。
 - something「何か」の具体的な内容が解答になる。
 - somethingの「具体」的な内容を把握する。
- ・some～の例を挙げる。
- ・for example（例えば）の前後を見る。

〈 stop / small / hard / begin / start / silent / reach / visitor / shut / large / quick / discover 〉

3 実践アドバイス👉

下線部の意味を問う問題で狙われる！

- ・設問では、「抽象」の部分に下線部が引かれていて、「具体」の部分に答えることが多い。

→下線部の後ろに着目する。

ex) I learned some important rules. One of them is to protect turtles on the beach.

→下線部の内容を具体的に説明してみよう。→下線部の後ろが解答！

→ビーチにいるカメを保護すること。

直前対策シート「対比の視点」

1 学習のポイント👉

プラス (+) イメージかマイナス (-) イメージかでとらえよう！

→主に読解問題で出題される！

①空欄補充問題

⇒「対比」を表す語句を入れるパターンと「対比」の語句を利用して空欄に語句を入れるパターン。

②文整序問題⇒選択肢に「対比」を表す語句がある場合は活用！

③「対比」を表す語句の前後は「プラス (+)」「マイナス (-)」が入れ替わる！

2 具体的に考えよう👉

①「対比」を表す語句を整理しよう。

・ but

⇒Kenta likes baseball but Hide doesn't.

・ however

⇒I like baseball. However I don't like soccer.

・ on the other hand (やや難)

⇒Kenta can run fast. On the other hand, Hide can swim fast.

・ although [though] (やや難)

⇒Although he is rich, he is not happy.

【類題演習1】()に入る語をく > から選ぼう。

*ただし、文頭にくる語も小文字になっている。

(1) It is fine today () it will rain tomorrow.

(2) () everyone likes him, I don't like him very much.

(3) He know that she will come back. () I don't know when she will come back.

(4) She went to London. () the other hand, her friend was in her hometown.

< however / on / but / although >

②「対比」関係にある単語

・ big (大きい) ⇔ small (小さい)

・ difficult (難しい) ⇔ easy (簡単な)

・ cold (寒い) ⇔ hot (暑い)

・ different (異なった) ⇔ same (同じ)

・ fast (速い) ⇔ slow (遅い)

・ early (早い) ⇔ late (遅い)

【類題演習2】()に適切な語を入れよう。

(1) This question is very difficult for me but not () for you.

(2) I get up early every morning. On the other hand, my old brother gets up ().

3 実践アドバイス👉

文を補充する問題で狙われる！

空欄前後の文脈をチェック→プラス (+) かマイナス (-) をふってみる。

→「対比」関係をもつ単語があるかチェックする。

→「not」に注意する。

*文脈…「対比＝逆」・「イコール」・「プラス＝原因・結果」の3つが読解問題では問われる！

直前対策シート「対比の視点」

1 学習のポイント👉

プラス (+) イメージかマイナス (-) イメージかでとらえよう！

→主に読解問題で出題される！

①空欄補充問題

⇒「対比」を表す語句を入れるパターンと「対比」の語句を利用して空欄に語句を入れるパターン。

②文整序問題⇒選択肢に「対比」を表す語句がある場合は活用！

③「対比」を表す語句の前後は「プラス (+)」「マイナス (-)」が入れ替わる！

2 具体的に考えよう👉

①「対比」を表す語句を整理しよう。

・ but

⇒Kenta likes baseball but Hide doesn't.

・ however

⇒I like baseball. However I don't like soccer.

・ on the other hand (やや難)

⇒Kenta can run fast. On the other hand, Hide can swim fast.

・ although [though] (やや難)

⇒Although he is rich, he is not happy.

【類題演習1】()に入る語をく > から選ぼう。

*ただし、文頭にくる語も小文字になっている。

(1) It is fine today (**but**) it will rain tomorrow.

(2) (**Although**) everyone likes him, I don't like him very much.

(3) He know that she will come back. (**However**) I don't know when she will come back.

(4) She went to London. (**On**) the other hand, her friend was in her hometown.

< however / on / but / although >

②「対比」関係にある単語

・ big (大きい) ⇔ small (小さい)

・ difficult (難しい) ⇔ easy (簡単な)

・ cold (寒い) ⇔ hot (暑い)

・ different (異なった) ⇔ same (同じ)

・ fast (速い) ⇔ slow (遅い)

・ early (早い) ⇔ late (遅い)

【類題演習2】()に適切な語を入れよう。

(1) This question is very difficult for me but not (**difficult**) for you.

(2) I get up early every morning. On the other hand, my old brother gets up (**late**).

3 実践アドバイス👉

文を補充する問題で狙われる！

空欄前後の文脈をチェック→プラス (+) かマイナス (-) をふってみる。

→「対比」関係をもつ単語があるかチェックする。

→「not」に注意する。

*文脈…「対比＝逆」・「イコール」・「プラス＝原因・結果」の3つが読解問題では問われる！

直前対策シート「指示語・省略語」

1 学習のポイント👉

指示語や省略語は該当部分より前から答えを探すのが原則！

→原則、「直前」に解答がある！

①指示語…単数・複数もヒントになる。

②省略語…前文と共通部分は省略されやすい。

2 具体的に考えよう👉

①指示語の種類

- ・単数を示すもの…it / this / that / one
- ・複数を示すもの…they / them / these / those
- ・その他…the / such / the / there
- ・文を示すもの…so / that
- ・動詞を示すもの…do / does / did
- ・物語文では人称代名詞も指示語として考える！

【類題演習】下線部の指示語が示す内容を英語で抜き出そう。

(1)A: Your shoes are very nice.

B: My father bought them.

(2)A: Did you went to the park?

B: Yes, I did.

②省略…直前部分が解答に！

- ・なぜ語句が省略できるのか？
⇒直前に同じ内容の語句がすでにあるから！
⇒省略部分は直前から探せばOKということに！
- ・直前部分から解答を探す！
ex)I 番単純な省略のパターン

Can she sing well? – Yes, she can.

sing well

(3)A: Everyone believes him.

B: I don't think so.

(4)A: This is a nice shirt.

B: I don't like red. I want a blue one.

3 実践アドバイス👉

指示語が狙われる出題パターン！

＊単純に指示内容が問われる問題以外にも、実は指示語を手掛かりに解答を導くことができる出題パターンは非常に多い。

①対話文の空欄補充問題…空欄前後の指示語や選択肢の指示語がヒントになる！

②文整序問題…文を並べ替えるときに指示語がヒントになる！

③下線部の言い換えや説明の問題…下線部中、下線部後の指示語がヒントになる！

⇒設問で問われている箇所については、指示語を意識することが大切！

省略が狙われる出題パターン！

①下線部の説明問題…省略されている部分を補って説明する。

⇒直前部分を抜き出して日本語に直す。

②省略されている部分を補完する問題

⇒補完するとき、動詞の変化（3人称単数のsをつけたり、過去形にしたり）に注意！

直前対策シート「指示語・省略語」

1 学習のポイント👉

指示語や省略語は該当部分より前から答えを探すのが原則！

→原則、「直前」に解答がある！

①指示語…単数・複数もヒントになる。

②省略語…前文と共通部分は省略されやすい。

2 具体的に考えよう👉

①指示語の種類

- ・単数を示すもの…it / this / that / one
- ・複数を示すもの…they / them / these / those
- ・その他…the / such / the / there
- ・文を示すもの…so / that
- ・動詞を示すもの…do / does / did
- ・物語文では人称代名詞も指示語として考える！

②省略…直前部分が解答に！

- ・なぜ語句が省略できるのか？
⇒直前に同じ内容の語句がすでにあるから！
⇒省略部分は直前から探せばOKということに！
- ・直前部分から解答を探す！
ex) I 番単純な省略のパターン

Can she sing well? – Yes, she can.

sing well

3 実践アドバイス👉

指示語が狙われる出題パターン！

＊単純に指示内容が問われる問題以外にも、実は指示語を手掛かりに解答を導くことができる出題パターンは非常に多い。

①対話文の空欄補充問題…空欄前後の指示語や選択肢の指示語がヒントになる！

②文整序問題…文を並べ替えるときに指示語がヒントになる！

③下線部の言い換えや説明の問題…下線部中、下線部後の指示語がヒントになる！

⇒設問で問われている箇所については、指示語を意識することが大切！

省略が狙われる出題パターン！

①下線部の説明問題…省略されている部分を補って説明する。

⇒直前部分を抜き出して日本語に直す。

②省略されている部分を補完する問題

⇒補完するとき、動詞の変化（3人称単数のsをつけたり、過去形にしたり）に注意！

【類題演習】下線部の指示語が示す内容を英語で抜き出そう。

(1)A: Your shoes are very nice.

B: My father bought them.
your shoes

(2)A: Did you went to the park?

B: Yes, I did.
went to the park

(3)A: Everyone believes him.

B: I don't think so.
everyone believes him.

(4)A: This is a nice shirt.

B: I don't like red. I want a blue one.
shirt

直前対策シート「理由」

1 学習のポイント👉

因果関係をとらえよう！

→主に読解問題で出題される！

- ①下線部の理由が問われる。
- ②物語文では、心情とセットで問われる。
- ③因果関係を表す語句をおさえる。

2 具体的に考えよう👉

① 後ろに原因を導く語句

・ because 主語+動詞

⇒ You should take an umbrella with you
because the weather report says it will
rain this afternoon.

・ because of 名詞

⇒ We couldn't go out because of bad
weather.

・ 不定詞が感情の原因を表す場合

⇒ She was very happy to listen to the
song.

【類題演習】()に入る語を〈 〉から選ぼう。

また「原因」を表す部分に線を引こう。

*ただし、文頭にくる語も小文字になっている。

(1) () his words, she got angry.

(2) This box was so heavy () he couldn't
lift it.

(3) He was () young to drive a car.

(4) He got interested in Japanese song ()
listen to her song.

(5) She was happy () her son became a
doctor.

(6) Sayaka is very kind () everyone likes
her.

〈 so / because of / because / too / to / that 〉

② 前に原因、後ろに結果を導く語句

・ so

⇒ The weather report says it will rain
this afternoon so you should take an
umbrella with you.

・ so~that 主語+動詞

⇒ It was so hot that we can't work very
hard.

・ too~to

⇒ It was too hot for us to work very hard.

・ make A B の形

⇒ The news made her sad.

3 実践アドバイス👉

説明問題で狙われる！

- ・「因果関係」を表すキーワードをおさえよう。
- ・ キーワードがない場合⇒下線部より後ろに理由が述べられている確率が高い。
⇒まずは、下線部より後ろから探してみよう。

直前対策シート「理由」

1 学習のポイント👉

因果関係をとらえよう！

→主に読解問題で出題される！

- ①下線部の理由が問われる。
- ②物語文では、心情とセットで問われる。
- ③因果関係を表す語句をおさえる。

2 具体的に考えよう👉

① 後ろに原因を導く語句

・ because 主語+動詞

⇒ You should take an umbrella with you because the weather report says it will rain this afternoon.

・ because of 名詞

⇒ We couldn't go out because of bad weather.

・ 不定詞が感情の原因を表す場合

⇒ She was very happy to listen to the song.

【類題演習】()に入る語をくくから選ぼう。

また「原因」を表す部分に線を引こう。

*ただし、文頭にくる語も小文字になっている。

(1) () his words, she got angry.

Because of

(2) This box was so heavy () he couldn't lift it.

that

(3) He was () young to drive a car.

too

(4) He got interested in Japanese song () listen to her song.

to

(5) She was happy () her son became a doctor.

because

(6) Sayaka is very kind () everyone likes her.

so

< so / because of / because / too / to / that >

② 前に原因、後ろに結果を導く語句

・ so

⇒ The weather report says it will rain this afternoon so you should take an umbrella with you.

・ so~that 主語+動詞

⇒ It was so hot that we can't work very hard.

・ too~to

⇒ It was too hot for us to work very hard.

・ make A B の形

⇒ The news made her sad.

3 実践アドバイス👉

説明問題で狙われる！

- ・「因果関係」を表すキーワードをおさえよう。
- ・ キーワードがない場合⇒下線部より後ろに理由が述べられている確率が高い。
⇒まずは、下線部より後ろから探してみよう。

直前対策シート「疑問文と答え方」

1 学習のポイント👉

疑問文の主語+動詞に着目！

→「問い」と「答え」をセットで考えよう！

- ①疑問詞がない疑問文→原則「Yes」か「No」で答える。
- ②疑問詞がある疑問文→疑問詞に対する答えがあるか確認する。
- ③疑問文の主語+動詞と答えの文の主語+動詞が対応しているかチェックする。

2 具体的に考えよう👉

①疑問詞がない疑問文

・ Do you know when he will come back?

- Yes, I do.

疑問文の主語：you→答えの文の主語：I

*ここがYouなどになると×

疑問文の動詞：know→答えの文の動詞：一般動詞

*ここがamなどになると×

②疑問詞がある疑問文

・ What book do you talk about?

疑問文の主語+動詞を対応させる！

疑問詞の答え部分に対応させる！

- We talk about a book on Japanese culture.

③助動詞使った疑問文

・ Will you come with me? (一緒に来てくれませんか。)

- Sure.

- I'm sorry, I can't.

・ May I open the door? (ドアを開けてもいいですか。)

- Sure. / Of course.

- No, you may not.

・ Shall I go there? (私がそこに行きましょうか。)

- Yes, please.

- No, thank you.

3 実践アドバイス👉

対話文の空欄補充で狙われる！

類題演習 ()に入る適切な英文を選ぼう。

A: ()?

B: I usually read some sentences many times.

ア) Why do you memorize the word イ) What does it mean ウ) How do you memorize the word

①答えの文の主語+動詞チェック:I read→疑問文の主語は?…you

②答えの文から疑問詞を考える: Whyを使うと becauseで答えるはず!

直前対策シート「疑問文と答え方」

1 学習のポイント👉

疑問文の主語+動詞に着目！

→「問い」と「答え」をセットで考えよう！

- ①疑問詞がない疑問文→原則「Yes」か「No」で答える。
- ②疑問詞がある疑問文→疑問詞に対する答えがあるか確認する。
- ③疑問文の主語+動詞と答えの文の主語+動詞が対応しているかチェックする。

2 具体的に考えよう👉

①疑問詞がない疑問文

・ Do you know when he will come back?

- Yes, I do.

疑問文の主語：you→答えの文の主語：I

*ここがYouなどになると×

疑問文の動詞：know→答えの文の動詞：一般動詞

*ここがamなどになると×

②疑問詞がある疑問文

・ What book do you talk about?

疑問文の主語+動詞を対応させる！

疑問詞の答え部分に対応させる！

- We talk about a book on Japanese culture.

③助動詞使った疑問文

・ Will you come with me? (一緒に来てくれませんか。)

- Sure.

- I'm sorry, I can't.

・ May I open the door? (ドアを開けてもいいですか。)

- Sure. / Of course.

- No, you may not.

・ Shall I go there? (私がそこに行きましょうか。)

- Yes, please.

- No, thank you.

3 実践アドバイス👉

対話文の空欄補充で狙われる！

類題演習 ()に入る適切な英文を選ぼう。

A: (ウ)?

B: I usually read some sentences many times.

ア) Why do you memorize the word イ) What does it mean ウ) How do you memorize the word

①答えの文の主語+動詞チェック:I read→疑問文の主語は?…you

②答えの文から疑問詞を考える: Whyを使うと becauseで答えるはず!

直前対策シート「英作文～過去～」

1 学習のポイント👉

「過去」に関する頻出テーマ！

→過去形の文使いこなせるようにしよう！

- ①中学校の思い出
- ②休暇中の出来事
- ③体験したこと

2 具体的に考えよう👉

①クラブ活動

- ・私は野球部に入っていた。
- I belonged to baseball club.
- I was a member of baseball club.
- ・私は毎日野球の練習をした。
- I practiced baseball every day.

②休暇中の出来事

- ・私は去年の夏泳ぎに行った。
- I went swimming last summer.
- ・私は友達と映画を見た。
- I watched the movie with my friend.
- ・私は祖母に会うため秋田に行った。
- I went to Akita to meet my grandmother.
- ・私は博物館で火おこしの体験をした。
- I had an experience to make fire in the museum.

③思い出

- ・私の1番の思い出は修学旅行だ。
- My best memory is to go on a school trip to Kyoto.
- ・私たちはたくさんのお寺を訪れた。
- We visited many temples.
- ・私はそこでおいしいものを食べた。
- I ate delicious food there.

④感想

- ・とても楽しかった。
- It was a lot of fun.
- I had a good time.

3 実践アドバイス👉

「中学校の思い出」についての英作文に挑戦！

【基礎編】

My best memory is to go on a school trip.

I went to _____.

I _____ with my friends.

I _____ a very good time.

【実践編】

My best memory is _____

_____.

I _____

_____.

I _____

_____.

It _____.

直前対策シート「英作文～過去～」

1 学習のポイント👉

「過去」に関する頻出テーマ！

→過去形の文使いこなせるようにしよう！

- ①中学校の思い出
- ②休暇中の出来事
- ③体験したこと

2 具体的に考えよう👉

①クラブ活動

- ・私は野球部に入っていた。
- I belonged to baseball club.
I was a member of baseball club.
- ・私は毎日野球の練習をした。
- I practiced baseball every day.

②休暇中の出来事

- ・私は去年の夏泳ぎに行った。
- I went swimming last summer.
- ・私は友達と映画を見た。
- I watched the movie with my friend.
- ・私は祖母に会うため秋田に行った。
- I went to Akita to meet my grandmother.
- ・私は博物館で火おこしの体験をした。
- I had an experience to make fire in the museum.

③思い出

- ・私の1番の思い出は修学旅行だ。
- My best memory is to go on a school trip to Kyoto.
- ・私たちはたくさんのお寺を訪れた。
- We visited many temples.
- ・私はそこでおいしいものを食べた。
- I ate delicious food there.

④感想

- ・とても楽しかった。
- It was a lot of fun.
I had a good time.

3 実践アドバイス👉

「中学校の思い出」についての英作文に挑戦！

【基礎編】

My best memory is to go on a school trip.

I went to (例)Kyoto.

I (例)visited many temples with my friends.

I had a very good time.

【実践編】

My best memory is (例)my club activity

_____.

I belonged to baseball club and

practiced baseball every day.

I won the last game

_____.

It (例)was a lot of fun

_____.

直前対策シート「英作文～未来～」

1 学習のポイント👉

「未来」に関する頻出テーマ！

→未来形の文を使いこなせるようにしよう！

- ①将来やってみたいこと
- ②高校生活について
- ③挑戦したいこと

2 具体的に考えよう👉

① 未来形の文

→will を使った文

*be going to は、厳密にいうと、予め決まっている未来のことを表すので、このようなテーマでは使用しない。

- ・私は医者になりたい。
→I want to be a doctor.
- ・私は将来外国に住んでいるだろう。
→I will live in a foreign country in the future.
- ・私は、彼女は10年後歌手になっていると思う。
→I hope (that) she will be a singer ten years later.

② 英作文の展開パターン

①将来何になりたいか？

→意見：I want to be a doctor.

②なりたい理由は？

→理由：I have two reasons.

First, I want to help sick people. Second, my father is a doctor, and I like his job.

③まとめ

→結論：I hope that I will help people as a doctor.

3 実践アドバイス👉

「高校で挑戦したいこと」
についての英作文に挑戦！

【基礎編】

I want to try to _____

when I am a high school student.

I have two reasons.

First, I _____

_____.

Second, I _____

_____.

For these reasons, I hope _____.

_____.

直前対策シート「英作文～未来～」

1 学習のポイント👉

「未来」に関する頻出テーマ！

→未来形の文を使いこなせるようにしよう！

- ①将来やってみたいこと
- ②高校生活について
- ③挑戦したいこと

2 具体的に考えよう👉

① 未来形の文

→will を使った文

*be going to は、厳密にいうと、予め決まっている未来のことを表すので、このようなテーマでは使わない。

- ・私は医者になりたい。
→I want to be a doctor.
- ・私は将来外国に住んでいるだろう。
→I will live in a foreign country in the future.
- ・私は、彼女は10年後歌手になっていると思う。
→I hope (that) she will be a singer ten years later.

② 英作文の展開パターン

①将来何になりたいか？

→意見：I want to be a doctor.

②なりたい理由は？

→理由：I have two reasons.

First, I want to help sick people. Second, my father is a doctor, and I like his job.

③まとめ

→結論：I hope that I will help people as a doctor.

3 実践アドバイス👉

「高校で挑戦したいこと」
についての英作文に挑戦！

【基礎編】

I want to try to (例)study English hard

when I am a high school student.

I have two reasons.

First, I (例)want to read an
English book

Second, I (例)want to be an English
teacher

For these reasons, I hope

I will be able to understand English